

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

法人名	妻鹿興商株式会社	事業所名	グループホームひだまり
所在地	姫路市白浜町甲402番地		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の朝礼時に理念の唱和をして実践につなげる努力はしている。			毎日の朝礼時に行う理念の唱和を継続して行う。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の自治会や老人会との繋がりはある。毎朝の散歩も地域の方に受け入れられている。コロナ禍の為、ボランティアやトライやるウィークの受け入れを中止している。	毎日の散歩を欠かさず続けられていることは、地域との付き合いを維持する取り組みだと考えられます。感染症と上手に付き合いながら、地域との関りやつきあいを深めて欲しいです。		様々な感染症などが収束すれば、レクリエーションを兼ねた散歩や、近所の公園等に行く事を検討していきたい。
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に会議を開催しホーム運営やサービス提供の方針、日々の活動内容、入居者の状態を報告し質疑応答を行いサービスの向上に活かしている。	感染症対策を徹底しながら運営推進会議を実施されておられますが、可能な限り利用者さんに参加できるよう検討してをお願いしたい。		感染症の感染拡大し通常通りの会議が開催出来ない時は書面での近況報告の実施や運営推進会議の内容の充実をお願いしたい。

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者が日頃から市担当者と電話・メール・面会等で頻繁に連絡をとり、市等からの連絡文書は職員全員目を通すようにしている。	管理者を中心に行政との連携を密に図れているとのお話を窺った。引き続き法令遵守の観点からも行政との協力関係は重要になると思われる。		事故報告書も含め、行政への連絡や確認をタイムリーに行い連携を強化していく。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	代表者および全ての職員は「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアを実践している。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今後も職員同士連携し、身体拘束しないで事故防止に努める。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	虐待防止の研修を定期的に行い、虐待に繋がるようなケアや言動等をしっかり理解している。入浴時等に不自然な傷等ないかチェックしている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	申し送りや職員会議で、不適切な対応がなかったかチームでの検討を継続する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	研修により権利擁護に関する制度の理解を深めている。入居者が制度を利用する際は書類準備の手伝い等をしている。			該当例がなくとも権利擁護に関する制度の理解を深め、入居者が制度を利用する際はスムーズに手続きを行うよう準備を行う。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	見学時に十分説明を行い納得して頂いた上で希望する方だけに申込書を提出して頂いている。解約時も十分説明した上で退居届けを提出して頂いている。改定時等は文書で連絡している。			利用者さんへの信頼や安心に繋がる懇切丁寧な説明を行い満足のいくサービス提供に繋げていきたい。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族の面会時や運営推進会議等で意見・要望を聞くようにしている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	対面を行わなくても利用者や家族等が意見や要望を伝えやすい仕組みづくりを考える。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員会議や申し送り時を意見や提案を聞く機会としている。職員によっては意見や提案を言いにくいと思っている人もいる。			誰もが発言やアイデアを自由に言える環境整備を行い、働きやすい職場づくりを行っている。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的な昇給・資格手当・子育て中の職員への配慮等は整備できている。一方で昼休みが取れないことが続いている		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的な面談以外にも、いつでも悩み事などが言える体勢づくりに努め、職員のストレス軽減を図る。
12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日朝礼時にマニュアル周知を行い、新入社員にはスキルアップ研修や外部研修も受講する機会を設けている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認証介護実践研修等や様々な研修や資格取得に向け積極的に受講できるよう取り組んでいく。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でグループホーム連絡会の集まりを中止している。			グループホーム連絡会の再開に向けて準備を行い、連携を深めるとともに、サービスの質の向上に繋げていく。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した方は難しいが、入居者に事故がなく、無理のない範囲で家事等をさせていただいている。			利用者のできることにも目を向けて、役割が継続できるように支援を行う。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出・面会制限があり難しいのが現実である。	面会の充実から本人の姿を見られて安心出来る支援の体制確保に繋げて欲しい。また、通信機器を活用した関係性の継続が必要であると考えられる。		引き続き、手紙のやり取りや電話連絡の支援を継続していく。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日入居者と会話し、相手の思いをなるべく聞くように努めている。			出来る限り傾聴する時間を作り、意向の把握に努めていく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じ本人・家族や主治医と相談しながら定期的に個別ケアの見直しをしている。	介護計画の支援内容の実施状況や目標に対する評価をどのようにモニタリングされているのか今後の支援内容の見直しに期待したいです。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人への聞き取りから3ヶ月に一度、モニタリングで目標に対する評価を職員から聞き取り記録し計画内容を変更していく。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活記録は毎日記入、経過記録も何か変化等あれば随時記入し、職員間で共有し実践や介護計画の見直しに活かしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の何気ない気付きに注視し、個別サービスの充実を図れるよう全職員で情報把握を行い、支援に繋げていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズがあれば、その都度本人や家族の意見を傾聴し、誠実に対応している。	まだまだ感染症の流行が収束されない中ではありますが、行政からの情報提供や地域の動向に注視しながら適宜適切に対応してほしい。		様々な感染症に留意しながら、現状を見て対応していく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	松原八幡神社には毎朝散歩には出掛けているが、コロナウイルス感染対応で外出制限があり難しいのが現状である	地域とのつながりを深める意味を含め、日課の散歩を続けて欲しい。また、地域でできることにも目を向けて、職員間でアイデアを出し合い業務改善を図ってほしい。		様々な感染症に留意しながら、現状を見て対応していく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホームのかかりつけ医と信頼関係を築き、密に連携しながら往診・受診介助、電話相談等している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院先病院の地域連携室と密に連絡を取り合いながら、情報交換している。ホームの主治医に入居者に変化があった時随時報告している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	これからもしっかりと医療機関と連携を密に図りながら有効な関係を続けていく。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	要介護度が上がった方には早い段階から家族様等と話合う場を儲け、今後のホームでできることをを説明し方針を共有している。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	看取り後の振り返りも全職員でチームとして実施するとともに、事例の活用や共有を法人内での情報共有にも努める。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	緊急時対応訓練を定期的に行い、実践力を身につけることをキャリアアップの要件にしている。			緊急時対応における研修を継続的に実施し、いざという時のリスクマネジメントに備える取り組みを行う。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	BCPに基づく水害時の避難訓練や火災訓練は定期的実施している。	今年度末までにBCP（事業継続計画）の作成と実施による検証が義務付けられており、感染症と合わせて法人全体で随時の見直しなども進めてほしい。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	BCP計画の作成後の見直しなどを定期的に行う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員に余裕がないと出来ない時もあるが、職員二人で不穏時の対応をしたり、時間を置いて対応するなど、職員同士連携している。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員同志の関係性づくりから、業務改善の一貫からお互いに注意しあえる環境づくりに努める。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	縫い物・塗り絵等個々の入居者の得意なこと、好きな事を把握し趣味の時間等にして頂くようにしている。			強要や強制とならないよう自己決定支援に努めていく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事時には、一人ひとりの残存能力に応じて「テーブル拭き」や「お茶入れ」「下膳」などの役割を持っていただき、達成感・満足感を感じていただいている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	感染症に留意しながら、できることから少しずつ皆でできることやおやつ作りを実施していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	健康記録により、一日を通じて食べる量や水分量を確保できるよう支援している。 また、管理栄養士の作成した献立表により、栄養バランス等を確認している。			主治医とも連携しながら必要に応じた栄養に関する支援を行っている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを実施しているが、時々強く拒否する方や重度化して口が開きにくい方には時間を置いたり、二人で対応している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	気になる症状や衛生管理を含め、ご本人やご家族の了解を得た上で適宜適切に歯科受診を支援する。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個別ケアに基づき、なるべく汚染の無いよう支援している。紙パンツ・オムツ・パット等個々の状態に合わせて着用して頂いている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	夜間の排泄状況も記録に残し、排泄の自立支援に繋げていく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入浴の時間は午前中に毎日実施しているが拒否する方は時間を置いて声掛けをして対応している。入浴後は「ありがとう。」と言ってもらえる。			心身のリフレッシュを図るとともに、清潔保持に努め、気持ちよく入浴できる体勢づくりに努めていく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の睡眠パターンを把握し、就寝・起床時刻の調整を行っている。			日中の活動支援にも留意し、充実した安眠や休息に繋がれるよう全職員で情報の共有を行う。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬剤師による居宅療養管理指導を受けており、薬について気になる事があれば随時相談している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬＝命という認識を持ち、服薬出来なかった時等は必ず報告を行う。入居者さんの状態の変化に合わ主治医への相談のもと、服薬方法の見直しを行う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	安全を確保した上で楽しみや役割を持って頂けるよう家事療法やレクリエーションの支援をしている。	室内でできることを継続して実施されており、引き続き運営推進会議の中でその取り組みについて紹介してほしい。		本人の自己決定を大切に支援を実施していく。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	松原八幡神社には毎 朝散歩に出かけている が、コロナウイルス感 染対応で外出制限が あり難しいのが現状で ある。	日課の毎朝の散歩は日 常的な外出支援だと思 います。外気に触れた り、日差しを浴びること や移動する景色を見るこ とは、とても大切だと思 うので引き続き実施され ることに期待したいです。		ホームの前にある畑や 花壇を活用し、土屋や 自然と触れ合って頂く 機会を作る。
37	お金の所持や 使うことの支援	職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり、使えるようにし たりできるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本にお金の所持 はして頂いていない。 必要な買い物は立て 替え払いをしている。			必要な物だけを買 い物購入する立て 替え払いを継続し ていく。
38	電話や手紙の 支援	家族や大切な人に本人自らが 電話をしたり、手紙をやり取り したりできるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望があれば、ご家 族等と電話でお話して 頂いている。			外部と自由に連絡 することのできる 仕組みづくりの 構築に努めてい く。
39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体 機能やわかる力を活かして、安 全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している。 共用の空間が、利用者にとって 不快や混乱をまねくような刺激 がないように配慮し、生活感や 季節感を採り入れて、一人ひと りが居心地よく過ごせるような 工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々整理整頓をし、通 路等に物品を置かな い等事故防止に努め ている。毎月季節に合 った壁紙を皆で制作し 季節感や生活感を取り 入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き、これまで過 ごされてきた暮らしに 近づけられるよう環境 整備に努めていく。

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス感染対応で外出制限があり一部難しいのが現状である。本人の思いや願いをなるべく聞くようにしている。			コロナ禍前の暮らしに近づけられるよう、日々の意向に沿った支援を行う。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット職員全員で定期的に、介護計画書のモニタリングを作成している。			本人のあるべき姿とはを考えながら支援を行っていく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調不良時は経過観察表で体調管理をしたり事故がなるべく起きないように日々の状況をもとに支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師や主治医と連携を取り、少しでも気になることがあれば相談するようにする。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴後や食後の団らん、好きなテレビ番組視聴等これまでの習慣を継続して頂いている。			コロナ禍前の暮らしに近づけられるよう、日々の意向に沿った支援を行う。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テレビや馴染みの家具等、危険が無い限り居室に置かれている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状をできる限り維持していく。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ☒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス感染対応で外出制限があり難しいのが現状である。	新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの地域の催事がようやく行われるようになったが、現段階では利用者の希望を聞きながら戸外にでていくことは難しいと思う。		現状をできる限り維持していく。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の残存能力を個々に把握し、家事やレクリエーション等で発揮して頂いている。			本人のできることに目を向けて、新しい役割や活躍する場を見いだしていく。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者同士や入居者と職員で楽しく会話する場面は毎日見られる。家事やレクリエーション、趣味活動も毎日参加支援している。		A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションや余暇活動等、利用者さんの意向を確認し楽しみを見つけて、活動意欲の向上に繋げていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. ☒ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス感染対応で外出制限があり難しいのが現状である。	日課の散歩は事業所に閉じこもらず、地域社会と交流するきっかけだと思うのでこれからも続けてほしい。		現状をできる限り維持していく。

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流はできていない。不穏な時もあるが「ありがとう」と皆さんよく口にしてくださり笑顔が見受けられる。	家では出来ない支援が事業所で出来ているので、現状から考えて、このグループホームに入ってよかったとおもってもらえていると思います。	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が利用者さんと会話の機会を増やすことで、会話の中から本人の気持ちをくみ取り質の高いサービスが提供できるように努めていく。
----	----	---	--	--	---	--	--